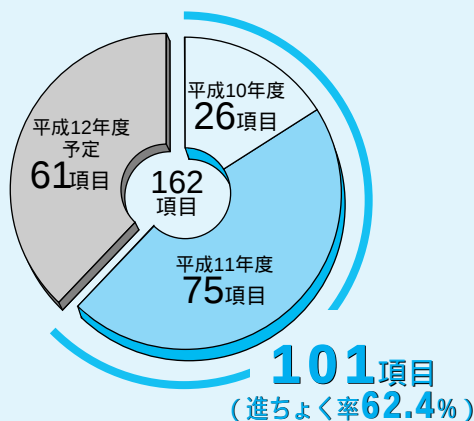
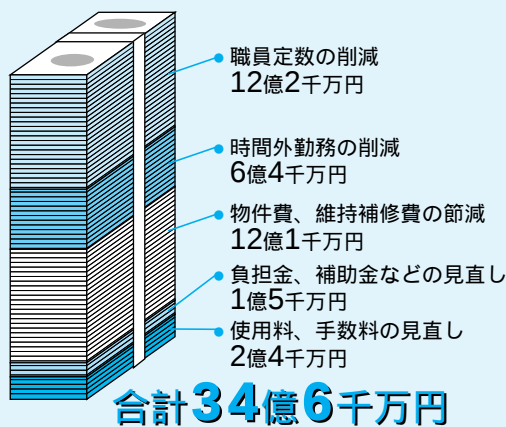


[グラフ] 年度別実施状況



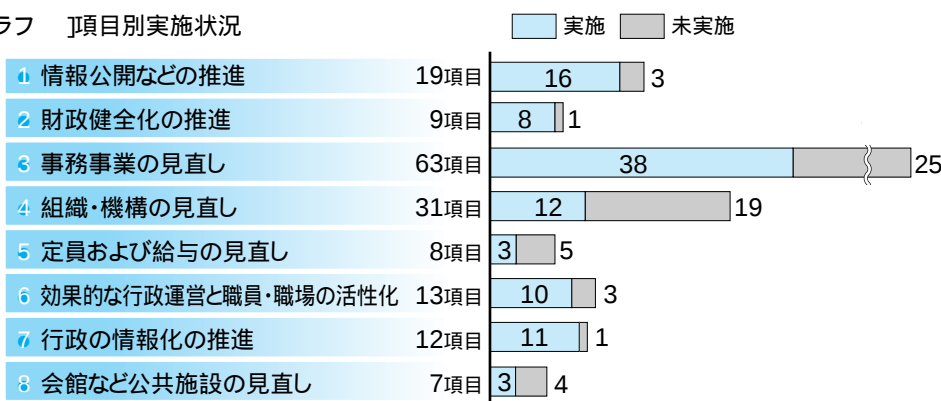
[グラフ] 平成11年末までの経費削減



「新・行財政改革」では、平成十年度に二十六項目、十一年度に十二年度目標分で実施できたものも含め七十五項目を実施。二年間で百六十二項目中、百一項目、全体の六二・四%の進ちよく率となりました(グラフ)。経費については、これまでに職員定数の削減による十二億二千万円や物件費などの節減による十二億一千万円など、平成十一年度末までに三十四億六千万円を削減しました(グラフ)。

進ちよく率62・4%、34億6千万円削減

[グラフ] 項目別実施状況



平成十二年度は、「新・行財政改革」の最終年度であり、未実施項目の目標達成を図るとともに、三年間の成果の取りまとめを行います。特に、平成十二年度における検討項目には、市民生活に密接に関連する地区市民センターの見直しや幼稚園・保育園の見直しなどの重要な課題が多くあり、これらの項目についても早い時期での取りまとめを行い、その進み具合は議会や行財政改革推進

改革をさらに積極的に進め、市民のみなさんと協働でまちづくりを

進退談会などに報告してまいります。これら行財政改革を通じて、行政システムを見直すとともに、情報の共有化を一層進め、市民のみなさんと協働し、生き生きとした市民本位のまちづくりを進めていきます。なお、三年間で達成できなかった項目の再検討や、検討が完了して実施に移す項目の進捗管理を行うため、新たな実施計画の策定も検討していきます。

- 6 効果的な行政運営と職員・職場の活性化
- ISO14001の認証取得
 - 職員倫理規程の制定
 - 事務事業評価システムの試行



- 5 定員および給与の見直し
- 職員定数の削減(三カ年で百三十人削減)
 - 時間外勤務の削減
 - 学校用務員の嘱託職員化



- 8 会館など公共施設の見直し
- 維持管理費の節減
 - 開館時間や休館日の見直し

- 7 行政の情報化の推進
- 三重県図書館総合目録ネットワークシステムの活用
 - 介護保険運用システムの開発整備
 - 教育情報システムの開発整備